

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	倉庫区分	文献	適用例	適正使用措置	感染症(OT)	出典	概要
101	2007/04/24	70100	中外製薬	トラスツズマブ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ(遺伝子組換え) トシリズマブ(遺伝子組換え)	チャイニーズ ハムスター 卵巣細胞	チャイニーズ ハムスター 卵巣	不明	製造工程	無	無	無			
102	2007/04/24	70101	中外製薬	トシリズマブ(遺伝子組換え)注	ガラクトース	ウシ乳	米国、 ニュージー ランド	製造工程	有	無	無	BSE	FDA News: P07-04, 2007年1月11日	FDAはBSEセーフガードとして医薬品や医療機器で、特定のウシ原料を禁止することを提案した。禁止される原料は、30月齢以上のウシの脳、頭蓋骨、眼および脊髄、全てのウシの扁桃腺および小腸の一部、ヘタリウシの全ての部位、検査を合格していないウシの全ての部位などである。
												BSE	ProMED-mail20061227.3821	カナダAlbertaで2006年8月9日に肉用牝牛が短期間の神経学的疾患の後、死亡したが、8月24日にBSEと確定診断された。カナダにおける8例目のBSE牛である。このウシは8から10歳と推定された。出生に関する追跡調査が行われたが、特定することはできなかった。
												リケッチア症	ProMED-mail20061130.3391	アイオワ大学感染症科は最近6ヶ月で8例のQ熱患者を診察した。州保健局は2006年だけで他に11例を報告している。過去3年間で4例であったことに比べると、発生率もしくは報告数が増加している。アイオワ南東部またはイリノイ北西部に住んでいる8例の内2例はウシ、ヤギまたはウマとの明らかな接触歴があり、4例は動物との希薄な接触歴があった。
103	2007/04/24	70102	中外製薬	レノグラスチム(遺伝子組換え)	ヒトラング フェリン	ヒト血漿	不明	製造工程	有	無	無	異型クロイツ フェルト-ヤコ ブ病	HPA/Health Protection Report 1(3) 2007年1月19 日	英国で4例目の輸血関連vCJD可能性例が診断された。この症例は供血後約17ヶ月でvCJDを発症したドナーからの赤血球輸血を受け、8年半後にvCJDを呈した。このドナーは3例目の輸血関連vCJD症例へのドナーでもある。4例目の症例はグリオン蛋白遺伝子のコドン129がメチオニンホモ体であった。まだ生存中である。
												ウエストナイル ウイルス	CDC/MMWR 2007; 58(04): 76-79	ID-NATを用いた強化スクリーニング開始以降に、初めて西ナイルウイルス輸血感染症例が報告された。2006年に免疫不全患者2例が、感染ドナー1例(献血時のMP-NATの結果は陰性)由来の血液製品を投与された後、西ナイル神経根性疾患を発症した。今回の例はID-NATは実施されておらず、ID-NATトリガーを促進することが重要である。